



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 藤倉化成株式会社  
コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 下田 善三

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

TEL 03-3436-1101

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	56,751	9.0	2,351	25.2	2,320	10.4	1,245	20.0
27年3月期第3四半期	52,076	△3.6	1,878	△6.4	2,101	△9.5	1,037	△29.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 970百万円 (△47.0%) 27年3月期第3四半期 1,831百万円 (△40.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	38.09	—
27年3月期第3四半期	31.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
28年3月期第3四半期	52,702		32,122		55.3	
27年3月期	52,905		31,930		54.3	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 29,123百万円 27年3月期 28,714百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	3.5	2,800	26.8	2,900	12.3	1,600	28.1	48.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	32,716,878 株	27年3月期	32,716,878 株
28年3月期3Q	38,168 株	27年3月期	38,168 株
28年3月期3Q	32,678,710 株	27年3月期3Q	32,678,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済対策などを背景に、企業収益や雇用情勢の改善が継続する中で、個人の消費マインドも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。日銀がマイナス金利を導入するなどの積極的な経済政策を打ち出す一方で、世界経済においては、中国における景気の減速や原油安が引き続くなど、先行きは依然として不透明な状況が続くものと思われま

す。このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は567億51百万円（前年同期比9.0%増）となり、営業利益は23億51百万円（同25.2%増）、経常利益は23億20百万円（同10.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億45百万円（同20.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

第2四半期連結会計期間より、従来「建築用塗料」としていた報告セグメントの名称を「塗料」に変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

## ① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車分野向け市場において、北米及び東南アジアにおける連結子会社の売上げが順調に推移し、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は193億62百万円（同9.3%増）となり、営業利益は14億3百万円（同17.5%増）となりました。

## ② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、リフォーム向け市場において、前年同期に影響を受けた消費増税前の駆け込み需要の反動減から需要が順調に回復し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は101億21百万円（同6.0%増）となり、営業利益は5億29百万円（同46.7%増）となりました。

## ③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）を取扱う電子材料部門におきましては、主要な原材料である銀の建値が下落傾向で推移したほか、電子部品の小型化による需要の減少などもあり、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は26億27百万円（同7.6%減）となり、営業利益は1億1百万円（同175.2%増）となりました。

## ④ 機能材料

樹脂ベースなどを取扱う機能材料部門におきましては、主力の粘着材ベースの需要が伸び悩んだものの、メディカル材料分野における伸長などにより、売上高は前年同期並みとなりました。

この結果、売上高は12億42百万円（同0.3%減）となり、営業利益は69百万円（同554.3%増）となりました。

## ⑤ 化成品

トナー用樹脂などを取扱う化成品部門におきましては、主力ユーザーにおける在庫調整などの影響によりトナー用樹脂の需要が減退し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は14億95百万円（同16.5%減）となり、営業利益は1億59百万円（同79.4%増）となりました。

## ⑥ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、前年度後半より販売を開始した海外市場向けの液晶TV用途製品が順調に推移し、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は219億74百万円（同15.5%増）となり、営業利益は90百万円（同52.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億3百万円（前連結会計年度末比0.4%）減少し、527億2百万円となりました。

## ① 流動資産

売上債権回収による現金及び預金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ1億17百万円（同0.4%）増加し、326億31百万円となりました。

## ② 固定資産

減価償却などによる有形固定資産及びソフトウェアの残存簿価の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ3億20百万円（同1.6%）減少し、200億70百万円となりました。

## ③ 流動負債

売上高増加に伴う原材料の購入増加に加え、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため支払手形及び買掛金の支払いが翌月に繰り越されたことにより買入債務が増加したなどの結果、前連結会計年度末と比べ13百万円（同0.1%）増加し、157億88百万円となりました。

## ④ 固定負債

社債の償還などの結果、前連結会計年度末と比べ4億8百万円（同7.8%）減少し、47億92百万円となりました。

## ⑤ 純資産

利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ1億91百万円（同0.6%）増加し、321億22百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.3%から55.3%へと1.0ポイント増加となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末より12円53銭増加し、891円20銭となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想は、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,622,810	11,787,254
受取手形及び売掛金	14,155,550	13,801,118
商品及び製品	3,877,880	3,658,421
仕掛品	112,716	93,604
原材料及び貯蔵品	2,163,249	2,104,466
繰延税金資産	458,727	358,524
その他	1,247,550	977,586
貸倒引当金	△123,677	△149,648
流動資産合計	32,514,805	32,631,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,134,847	10,304,331
減価償却累計額	△5,142,593	△5,397,077
建物及び構築物 (純額)	4,992,254	4,907,254
機械装置及び運搬具	12,565,269	12,684,866
減価償却累計額	△9,602,852	△9,976,664
機械装置及び運搬具 (純額)	2,962,417	2,708,202
工具、器具及び備品	3,918,282	4,057,532
減価償却累計額	△3,230,805	△3,367,632
工具、器具及び備品 (純額)	687,477	689,900
土地	4,472,253	4,454,133
リース資産	215,084	318,898
減価償却累計額	△119,322	△153,917
リース資産 (純額)	95,762	164,981
建設仮勘定	135,881	291,794
有形固定資産合計	13,346,044	13,216,264
無形固定資産		
ソフトウェア	792,880	667,087
のれん	121,268	53,999
その他	1,408,079	1,269,856
無形固定資産合計	2,322,227	1,990,942
投資その他の資産		
投資有価証券	2,379,718	2,423,632
長期貸付金	57,175	39,133
繰延税金資産	300,315	276,232
その他	2,017,361	2,160,725
貸倒引当金	△32,818	△36,642
投資その他の資産合計	4,721,751	4,863,080
固定資産合計	20,390,022	20,070,286
資産合計	52,904,827	52,701,611

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,240,981	8,492,252
短期借入金	4,018,469	4,028,120
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払法人税等	144,693	195,517
未払費用	983,043	1,072,469
賞与引当金	724,305	379,196
リース債務	42,601	61,416
その他	1,121,079	1,059,305
流動負債合計	15,775,171	15,788,275
固定負債		
社債	1,500,000	1,000,000
繰延税金負債	25,943	25,208
退職給付に係る負債	2,686,740	2,700,671
長期未払金	279,818	279,665
リース債務	85,147	150,875
その他	621,791	635,320
固定負債合計	5,199,439	4,791,739
負債合計	20,974,610	20,580,014
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	16,193,004	16,980,091
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	26,560,355	27,347,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	539,343	547,613
為替換算調整勘定	2,568,890	2,119,388
退職給付に係る調整累計額	△954,757	△891,044
その他の包括利益累計額合計	2,153,476	1,775,957
非支配株主持分	3,216,386	2,998,198
純資産合計	31,930,217	32,121,597
負債純資産合計	52,904,827	52,701,611

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	52,075,655	56,751,397
売上原価	39,833,229	43,404,051
売上総利益	12,242,426	13,347,346
販売費及び一般管理費	10,364,024	10,996,040
営業利益	1,878,402	2,351,306
営業外収益		
受取利息	11,763	29,895
受取配当金	47,684	61,852
固定資産賃貸料	41,791	41,560
持分法による投資利益	66,275	63,711
為替差益	68,790	-
その他	85,342	123,522
営業外収益合計	321,645	320,540
営業外費用		
支払利息	51,510	46,275
為替差損	-	226,320
その他	47,937	79,369
営業外費用合計	99,447	351,964
経常利益	2,100,600	2,319,882
税金等調整前四半期純利益	2,100,600	2,319,882
法人税、住民税及び事業税	395,351	759,135
法人税等調整額	388,001	150,566
法人税等合計	783,352	909,701
四半期純利益	1,317,248	1,410,181
非支配株主に帰属する四半期純利益	280,445	165,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,036,803	1,244,588

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,317,248	1,410,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,949	13,098
為替換算調整勘定	400,322	△480,688
退職給付に係る調整額	30,032	63,713
持分法適用会社に対する持分相当額	9,592	△36,278
その他の包括利益合計	513,895	△440,155
四半期包括利益	1,831,143	970,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,501,682	867,070
非支配株主に係る四半期包括利益	329,461	102,956

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	17,719,475	9,550,314	2,831,522	1,245,456	1,789,125	18,939,763	52,075,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,018	-	10,603	430	-	90,842	103,893
計	17,721,493	9,550,314	2,842,125	1,245,886	1,789,125	19,030,605	52,179,548
セグメント利益	1,194,273	360,992	36,870	10,506	88,701	187,149	1,878,491

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,878,491
セグメント間取引消去	△89
四半期連結損益計算書の営業利益	1,878,402

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	19,361,580	10,121,185	2,619,093	1,241,435	1,494,591	21,913,513	56,751,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	7,769	359	-	60,588	68,716
計	19,361,580	10,121,185	2,626,862	1,241,794	1,494,591	21,974,101	56,820,113
セグメント利益	1,402,826	529,491	101,475	68,745	159,170	89,679	2,351,386

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,351,386
セグメント間取引消去	△80
四半期連結損益計算書の営業利益	2,351,306

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、従来「建築用塗料」としていた報告セグメントの名称を「塗料」に変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。